

山ノ内町立小学校統合に関する基本方針

山ノ内町教育委員会 臨時会

令和6年3月28日 提案

令和6年3月28日 承認

1. 山ノ内町立小学校の統合に向けた基本方針

- 3小学校を1校に統合する。
- 統合小学校の開校時期の目標を、最短で令和9年4月とする。
- 統合小学校の設置場所は山ノ内中学校敷地又は西小学校敷地のいずれかとし、統合計画の内容を町民に周知した上で、令和6年度中に教育委員会が最終決定する。
- 将来的に小中併設一貫の学校の実現を目指す。

2. 基本方針の詳細

- ① 3小学校を1校に統合する。
- ② 統合小学校の開校時期の目標を、最短で令和9年4月とする。
(町校長会と教育委員会が協議の上、令和6年度中に最終決定する。)
- ③ ②に向けて着実に作業を進めるため、町長が示した「まちづくりビジョン」に対する合意形成を、町部局並びに議会に求める。
- ④ ②の最終決定に基づき、3小学校の閉校年度を決定する。
- ⑤ ④の決定に基づき、3小学校閉校に向けた作業計画を令和6年度中に作成する。
- ⑥ 統合小学校の設置場所は山ノ内中学校敷地と西小学校敷地のいずれかを候補地とし、統合計画の内容を広く丁寧に周知して町民の理解と合意を得るようにする。
- ⑦ ⑥を踏まえて、統合小学校の設置場所を令和6年度中に最終決定する。
(山ノ内町立小学校適正規模・適正配置に係る基本方針と山ノ内町統合小学校整備計画案を改定する。)
- ⑧ ⑦の決定を受け、長寿命化の是非を踏まえた施設整備経費他、統合事業の予算要求を行う。
- ⑨ ⑧までの進捗を確認しつつ、将来的に小中併設一貫の学校の実現を目指すため、「小中併設一貫学校」並びに「義務教育学校」の在り方を検討し方針を定める。
- ⑩ ⑨の開校年度は、②の決定に基づき令和6年度中に目標年度を示す。
- ⑪ 以上を計画的に推進するため、「**山ノ内町立小学校統合準備委員会**」を**発展させた**「山ノ内町立学校統合準備委員会」(仮称)を令和6年度中に設置し、「山ノ内町立学校統合整備計画」(仮称)を令和7年度中に策定する。(第2次山ノ内町教育振興計画を改定する。)

3. 小学校統合に向けたロードマップ

R5	R6	R7	R8	R9	R10
	統合小学校 設置場所を決定 (閉校準備開始)		3 小学校閉校 (R9.3 月目標)	統合小学校開校 (R9.4 月目標)	
統合基本方針決定 (R6.3 月)	学校統合準備委員 会(仮称)設置	学校統合整備計画 (仮称)策定			
	統合事業の予算要 求、設計等開始				
	小中併設一貫の 学校の在り方検討 (開校目標年度示す)				
	町部局と議会の合意形成が図られ 「まちづくりビジョン」が推進される				

4. こども・教育施策推進のためのソフト事業の基本方針

- ① 令和 6 年 3 月議会にて町長が示された「ハードからソフトへ積極投資」の方針に基づき、こども・教育施策推進のためのソフト事業全般の検討を令和 6 年度より進める。
- ② ①は町学校関係者と教育委員を中心に、保護者、児童生徒、地域住民等を含む「山ノ内町こども教育施策推進ソフト事業検討会議」(仮称)を設置して行う。
- ③ ②の検討内容に基づき、令和 6 年度より必要な予算要求を行う。

解説

平澤町長の「ハードからソフトへ積極投資」の方針について

町長は、令和 6 年 2 月 27 日の議会全員協議会において『やまのうち未来創造ビジョン(こども教育編)「ハードからソフト」へ、ひとづくりへの積極投資を目指す』を示されました。統合小学校の建設等コストを最大限抑える代わりに、教育充実と人材投入の財源を確保し「個別最適でワクワクする質の高い学びの実現と、誰一人取り残さない支援環境整備」を実現するためのソフト事業に対し、町独自に積極投資をしていくという考えです。

平澤町長の「まちづくりビジョン」について

町長は、令和 6 年 3 月 27 日の総合教育会議において、山ノ内町の魅力を最大限に高めるための「まちづくりビジョン」を示されました。具現化については今後、議会と町部局において検討されますが、夜間瀬上条地区を中心に移住者や若い世代のための住宅開発を進めたり、子育てや教育環境充実のための社会インフラ整備を図るという方針が含まれています。それに基づき、町長より西小学校の施設を活用した統合小学校の設置が提案されました。